



父の最期の地(マーシャル諸島)をめぐる74歳の旅と、島の暮らしに棲みついた戦争の記憶



忘れた環境は、憶えている

大川史織 講演会 戦争の記憶を共有すること

映画『タリナイ』

タリナイ tarinae

大川史織 初監督作品
プロデューサー / 藤岡みなみ

製作 配給: 春樹舎 | 宣伝: アーヤ館 | 2018 | 日本 | カラー | 日本語 英語 マーシャル語 | 93分 | www.tarinae.com | 活動拠: MIRQMO5 STUDIO

2023年4月20日 (木) 午後1:00~2:30
『タリナイ』上映会 9時~10時45分~
高原記念館 入場無料

大川さんはドキュメンタリー映画『タリナイ』(2018年)で、どこまでも美しい海、素晴らしい音楽が印象的なマーシャル諸島を舞台に、その地に残る戦争の長い影を複層的に描き出しました。本講演会では、マーシャル諸島との出会い、映画制作の裏事情、被害者性と加害者性の問題、作品中にしばしば登場するウミガメが象徴するものなど、さまざまな角度から語っていただきます。

戦争が遠いものではなくなってしまった今日、私たちはそれにどう向き合うべきなのか、ともに考える場になればと思います。

講演終了後、ドキュメンタリー映画撮影の短いワークショップや茶話会も予定しています。ぜひ奮ってご参加ください。

大川史織 (おおかわしおり)

神奈川県生まれ。高校時代に訪れたマーシャル諸島で聞いた日本語の歌に魅せられて、大学卒業後、マーシャル諸島へ移住。ドキュメンタリー映画『タリナイ』『keememej』監督。

編著書に『マーシャル、父の戦場——ある日本兵の日記をめぐる歴史実践』(みずき書林)、『なぜ戦争をえがくのか——戦争を知らない表現者たちの歴史実践』(みずき書林)がある。



【主催：大阪公立大学大学院文学研究科文化構想学専攻 共催：アジア文化学専修】